



平成
20
年度
6
月

学校だより

京都市立桃陽総合支援学校

楽しかった運動会

本校小中学部

五月十七日、さわやかな日差しの下、「第三十回 運動会」が行われました。

事前準備として、立て看板やゼッケンを作ったり、開閉式式のあいさつを考えたり、選手宣誓や準備運動の練習をしたり、とみんな“一人一役”を担って取り組みました。

当日白線の引かれた運動場では、コースに沿って懸命に走る姿、歯を食いしばって綱を引っぱる姿、水をこぼさないように真剣な表情で走る姿、また、前に置かれたハードルや綱に苦戦する姿など、普段とは違ったみんなの姿を見ることができました。応援に来られた保護者の方々もカメラ片手に声援を送ってくださいっていました。

スローガン、「みんなが協力して心をついにし、一人一人が全力を出しきってがんばる桃陽魂あふれる運動会」を掲げ、「桃陽魂（IIあきらめない心）」をもって、自分のできることを精一杯発揮してくれたと思います。

とっても楽しい運動会となりました。

楽しかった民族芸能鑑賞

本校小学部

五月十四日に地域交流として藤城小学校へ行き、劇団「若駒」の民俗芸能アンサンブルと一緒に鑑賞させていただきました。本校の紹介を六年生が代表で元気にしてくれました。藤城小の友達からは大きな拍手をもらいました。

舞台では「祭りばやし」の和太鼓、横笛などの演奏や「南京玉すだれ」、岡山県の大蛇退治の舞踊など迫力のある演技が見られ、子ども達は楽しい一時を過ごすことができました。

子ども達の作文より

若駒芸能一座

今日、藤城小学校へ行って、若駒芸能一座の劇を見させてもらいました。一番最初の「祭ばやし」がとても迫力があって、楽しかったです。その次の劇もとても楽しかったです。途中で「南京玉すだれ」があっ

て、「あ、さて。あ、さて。あ、さて。さてさてさて、さては南京玉すだれ」というところが面白かったです。作り方も説明してくれはったから、作りたいなあと思いました。

その後に「大蛇退治の舞」がありました。大蛇がすごく大きくて、若駒芸能一座の人が言っていたとおりでした。私は大蛇が大好きだから、舞台から落ちないかと心配していました。一回目、回っている時、しっぽが落ちて、二回目は力自慢の人が大蛇にお酒を飲ました後、刀で大蛇の体をさした時、しっぽが落ちて大丈夫かなと思っていただけ大丈夫でした。

その後、若駒芸能一座の人から選ばれた人と、舞台



に出たい人が上がって、太鼓とか三味線とかチャップとか、色々な楽器で演奏していたのを見て、とても楽しそうだと思います。一番最後の大太鼓とか小太鼓を使って踊ったりするのが楽しそうにみえました。

行事の春

京大病院分教室

暖かくなってきたを乗り越えて、暑くなってきたこの頃。京大では「芸術の秋」ならぬ「行事の春」を満喫しました。

いつもは午前中しか授業がない一年生が、午後もうきうきと登校し、小学部で取り組んだワクワク活動。今回作ったのは、みんな大好きホットケーキ！いつもはコの字に並んでいる机をくっつけて、手を洗ってポウルに粉を入れて…と、一年生から六年生まで一緒に粉まみれになって、ちいさめのホットケーキを大量生産。せっかく食べるのだったら大勢でと中学部も呼んで、一緒におやつタイム。入学式以来の顔合わせに照れながらも、自己紹介をし

て仲良くおいしく食べました。ホットケーキが大好きで、その日の朝もホットケーキを食べてきたというK君は「また作ろうな！」と



嬉しそうに帰っていきま

た。ALIT（英語を教えている先生）は、今年から新しく来られたサラ先生と学習しました。サラ先生の故郷の写真を見せてもらいながら話を聞いた後、英語で自己紹介や〇×ゲームをしたり、ハローソングを歌ったりと本物の発音を真似しながら英語に触れることができました。

五月二十三日には京都市交響楽団から楽団員さんに



来ていただき、ミニコンサートをしました。おおお大きく頑丈そうな入れ物で運ばれてきたのは、なんとハーブ！「ハーブにはペダルがついてるんやな！」と驚きの中、クラシック曲に始まり、「鎌倉」や「姫路」という日本の土地のタイトルが付いた曲、「ビリーブ」や



「さんぽ」といったみんな

よく知っている曲まで、幅広く演奏してくださいました。CDとは違う目の前での演奏に、子ども達ばかりか保護者や外来患者さんもすっかり引き込まれ、あっという間の四十分間でした。

「中学生になって張り切ってるゾ！に負けないでテスト受けたね。」

国立分教室

新しい仲間が分教室で、「先生、先生！新聞に作文がでるねん。」そのタイトルが「中学生になって張り切ってるゾ！」でした。その次に出た言葉「テストがあるねん。」

中学生三人になりステッブテストを受け終わった友達の後輩の定期テストに対して心配や心配りをしてくれていました。「初めてのテストはどんなもんやろうと思うぐらいの気持ちで受けたらええんや。」と励ましのアドバイスもありました。また、地域の学校によって試験の形式は異なっているようですが入院して間もないのに最後まであきらめない

いで受けようとする姿はりっぱではないでしょうか。

登校時に保母さんや看護士さんから励ましの言葉をかけてもらったり地域の先生もテストなどを届けに来てくれたりなどしています。

習った事を使わなければ忘れてしまうから、やろうと思えば入院して時間はたくさんある人は、受けるからには、時間を見つけて最低1時間努力して欲しいと願っています。それをN君も心のどこかで応援してくれると思います。「私もがんばるから、N君もがんばりや。」と以前そんなやりとりがあったことを思い出し前向きになる事を期待しています。

対戦する姿が楽しみ

二赤分教室

入院してから何をしたいか自分でもよくわからない状態の四年生の子どもがいます。体力もおちていて、一時間座っていると疲れるようです。車イスから自力歩行になっていきますが、点滴のスタンドを頼りにして教室まで歩いてきます。い

【入梅間近】

訪問教育

いろいろ提案してもやってみたいと言う意思表示はあまり見られませんが、そこでもこれまで体力がないからと控えていた体育を提案してみました。内容は的当て・卓球・Wiiです。表情がパツと明るくなりました。テレビのコマーシャルでしか見たことがないので一度やってみてみたかったのだそうです。

約束の時刻にお母さんと一緒にその子どもは教室にやってきました。生き生きとした表情をしています。リモコンの使い方の説明を聞く表情は真剣そのものです。テレビの画面を見てボーリングをすることになりました。交代でリモコンを振っているうちにだんだん上手になってきました。点数をみて満足そうです。腕が痛いというので今回はゲームで終了しました。

来週からは長い間ベッドサイド学習をしていた五年生の子どもが教室に来る予定です。この二人の子どもが対戦する姿が今から楽しみです。

訪問教育の子どもたちは、ただ今小学部六人中学部二人です。

新しい学年になって二ヶ月経ちました。子どもたちは、もう自分の学年を間違えて書くこともなくなり、それぞれが次のステップを見つめたり、探したりしています。

小学三年の0くんは書写の学習ではじめて「毛筆」を使いました。今までの鉛筆やフェルトペンとの違いを楽しみ、半紙にぐるぐる渦巻きを書きました。小学五年のTさんは五年生から始まった「家庭科」に興味があります。ガスコンロでお湯を沸かしてお茶を入れる実習をしました。

退院や転院に向けて取り組んでいる人もいます。病棟を歩いて筋力の回復に励んでいる小学五年のM君、学校まで歩いていく練習をした小学一年のYくん。地域の学校で学習する時間を持とうと取組を続けている小学四年生もいます。季節の移ろいを届けようと



アジサイや蛙を

府立医大分教室

訪問担当では掲示物を作って病室を飾ることもあります。六月といえばアジサイ。学びの森のアジサイはつぼみを膨らませてきました。桃陽病院の桜にまなびの森の源平桃は、新芽が若葉にとすっかり成長し、青々としています。本校の駐車場周辺には、小さな草花がつぎつぎと花を咲かせ、季節の移り変わりを感ぜさせてくれます。今は、ヒメコバソクが五ミリメートルくらいの小さな小判のような実をたくさんつけ、初夏の風に揺られています。

府立医大病院の窓からは、青々と葉の生い茂った楠が見えます。初夏を感じさせる今日この頃です。平成二十年度が始まって早二ヶ月。分教室のメンバーも入れ替わりはありますが、同じ時間と空間を共有しながら日々過ごしています。

小学部・中学部それぞれの学年に合わせて、各教科の学習を進めています。学習の合間には、「リーダーさがし」「落ちた、落ちた」などのゲームをしたり風船バレーをしたり、また籐のひごで小さな籠をつくったりしています。

折り紙も練習し、六月のカレンダーづくりでは、アジサイや蛙を折って、絵の上にアレンジしている子どももいました。

五月十五日にはアメリカのテキサス州から来られたALITの先生と共に英語の学習を楽しみました。その他にもボランティアの学生さんが毎日来られ、児童・生徒達も新鮮な空気を感じているようです。

入院生活では、色々なことがあると思いますが、教

信頼関係

学校長 尾崎泰敏

室やベッドサイドで自分のできることにチャレンジしている姿をこれからも見守っていきたくと思っています。

五月十七日(土)運動会がありました。多数の保護者の方々や来賓の参加があり、好天にも恵まれて子どもたちも持てる力を十分に発揮してくれました。午後からは保護者の皆様には卓球バレーを楽しんでいただきました。多数のご参加、ありがとうございました。

ところでバレーボールという競技ですが、チームプレーという点で、たいへんよくできている競技だといくづく思います。現在もオリンピックの予選が行われていますが、強いチームといるのはチームとしてのバランスが整っています。ご存知のようにバレーボールはサーブをレシーブしてトスを上げ、アタックすることが基本になります。レシーバーはセッターがトスを上げやすいように正確にやさしいボールを返すことが

必要です。セッターは余裕がある。アタッカーが打ちやすく相手がブロックしにくい所にトスが上げられます。この歯車がどこかで狂うとチーム全体が慌てだします。そうするとアタックは決まる確率が悪くなりますし、ミスも多くなります。またせつかくよいトスやレシーブをしてもアタッカーが失敗すると信頼関係がなくなってしまう。また、レシーブが悪いというトスが上からず、アタックを失敗したり、相手のブロックに捕まる事が多くなります。お互いのポジッションの役割をしっかりと守り、お互いのプレーに関して信頼関係ができるチームとして強くなります。団体競技は全てがそうですが一人の優れたプレーヤーがいてもそれだけでは強いチームにはなりません。バレーボールは、特にこの点が顕著なスポーツだと思います。反対の面から考えますと勝つためには相手チームの連携を壊すようにすればよいことになり。連携をくずすには相手に無理なプレーをさせるように仕向けることが効果的になります。強いチームというのは信頼関係が壊れにくいチームという

こともできます。
 今回保護者の皆様に楽しんでいただけた卓球バレーは、年齢、障害のあるなしを問わずバレーボールの醍醐味(チームプレーの醍醐味)が味わえるスポーツです。桃陽の子どもたちにもっと親しんでほしいと思っております。

平成二十年度 桃陽総合支援学校 学校評議員の皆様をご紹介させていただきます。

- 大畑 眞智子 様
 - 京都市立藤城小学校長
 - 海老瀬 敏正 様
 - 京都市立藤森中学校長
 - 山本 一宏 様
 - 京都市桃陽病院事務長
 - 今村 絹代 様
 - 桃陽会会長
 - 柴田 雄一 様
 - 京都老人ホーム副施設長
 - 大堀 実 様
 - 桃陽総合支援学校 PTA 会長
- 以上、六名の皆様にお世話になります。多数のご意見を頂き、より良い学校づくり努めてまいります。

6月行事予定

日	曜	本校・訪問教育	桃陽病院	分教室(国立・京大・医大・二赤)
1	日	学校説明会(白河・鳴滝)	外泊日	
2	月	朝会 健康相談日 夜間学習		
3	火	フッ素洗口		集会国立病院分教室
4	水	耳鼻科検診 プール清掃 児童生徒運営委員会		課外学習
5	木			
6	金			
7	土		外泊日	
8	日		↓	
9	月	保健週間 修学旅行前検診中3 内科検診中全 総P 夜間学習		集会京大病院分教室
10	火	フッ化洗口	保護者面談日	集会医大病院分教室
11	水	修学旅行(中) 職場体験学習		課外学習
12	木	修学旅行(中) 職場体験学習 夜間学習		
13	金	修学旅行(中) 職場体験学習 安全点検日		
14	土	みどりの会活動日	外泊日	
15	日		↓	
16	月	健康相談日 プール前健康相談 内科小全 修学旅行前検診小6 夜間学習		
17	火	フッ化洗口 科学センター学習(午前)小5 6 中1		
18	水	児童生徒運営委員会		課外学習
19	木	歯科検診 夜間学習		
20	金	修学旅行(小)		
21	土	修学旅行(小) 休日参観・懇談会・進路説明会・家庭教育学級		
22	日		外泊日	
23	月	代休日	↓	
24	火	フッ化洗口		集会二赤病院分教室
25	水	児童生徒運営委員会		課外学習 京大茶話会
26	木	夜間学習	誕生会	
27	金	月末大掃除		
28	土		外泊日	
29	日		↓	
30	月	健康相談日		